

ハツカネズミ

特徴と生態

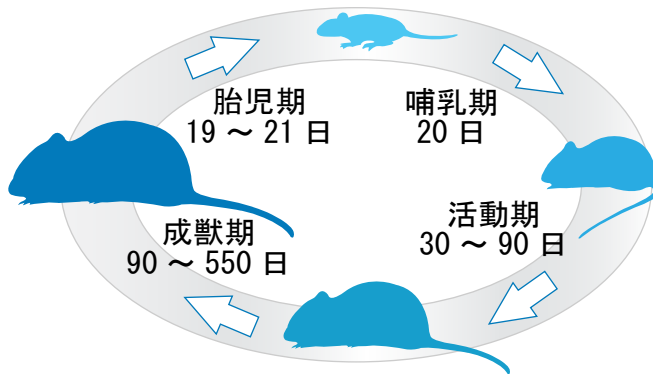


- 成獣…頭胴長：6～9 cm
尾長：頭胴長よりもやや短め
体重：10g～25g
- 毛色…背面：赤みのないこげ茶
腹面：灰白色
- クマネズミやドブネズミと比べ、ひとまわり小さいのが大きな特徴です。耳が大きく、被毛から大きく露出されています。夜行性で一年中活動しています。食性は、雑食性ですが基本的に種子、穀物類、果実、花、昆虫などの植物食を好みます。妊娠期間は21日で、産子数は4～7頭、生まれた子供は約2～3ヶ月で成獣（繁殖可能）となります。寿命は約1～2年です。

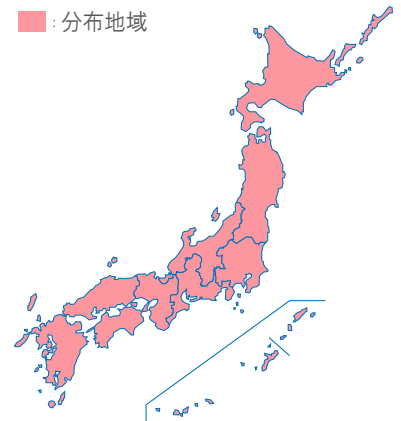
分布と発生場所

- 一般的に草むらや田畑に生息していますが、人家やビル、港湾地帯の倉庫などにも多く見つかっています。湯気に強く、荷物に潜んで移動し、世界の広い地域に分布しています。単独か家族で生活しながら、人家では隙間、ビル内の積み荷や屋外の積み藁・土中などに巣を作り、河原や畑では、巣穴などで生活します。日本では全国的に分布しています。

○ サイクル図



○ 分布図



○ 発生時期



被害

- ドブネズミと同様で、農作物や食品などに食害を与えるだけでなく、糞・死鼠などが食中毒菌や感染症・ウイルスの伝播源となります。電線やケーブルなどへの咬害によって停電などの被害も及ぼすこともあります。秋から冬にかけて納屋や倉庫などに侵入したり、人家や周辺の環境に入り込み、ハウス栽培の作物に被害を与えたりしています。

駆除

- 毒餌や粘着シートなどを設置して駆除をおこないますが、ほとんどが屋外から侵入するため侵入箇所をふさぐなどの対策が必要です。建物の破損場所や隙間を補修して食品は戸棚や蓋付きの容器に収納しましょう。ゴミの出し方や置き場の管理をします。巣材になる布や紙、ビニールを片づけて通路となる穴をふさいだり、網や捕獲用具をしかけたりするなどして、侵入を防ぎます。春と秋の繁殖期の前に駆除すると効果的です。